

問 20 人権全般に関するご意見（自由記述） 各項目の意見は一部抜粋

1. 教育・啓発に関する意見（33 件）

- 子どもや障害者への虐待、SNS での誹謗中傷など、本来起きてはならないことが現在の自分たちの周りでは普通のことのように起きている。SNS での問題については、学校の授業の一環で、講習会などで人権について分かりやすく説明し、自身が被害者となった場合の気持ちなどを取り上げて考えることが大事なことでありと考える。人権を守ることを全ての人が徹底的にすることは思えないが、意識を持ってほしい。
- 大人になるとやはり学習の機会がないため、大人の目に触れる機会が多い媒体などで啓発してほしい。
- 人権に関する知識は、幼児の頃から必要である。遅くとも小学 1 年生から丁寧に根気強く学ぶべきである。小さなうちから学ぶカリキュラムを作成し、全面に出してほしい。

2. 高齢者・障害者支援に関する意見（7 件）

- 子どもたちの職業理解について、もう少し実際の現場を見て、体験し、職業を選択できる機会があるとよい。障害者の貧困のループを解消するという意味でも大事であると考え。
- 老老介護で、いつまで親が障害のある子どもを見ることができると不安。

3. 外国人・多文化共生に関する意見（17 件）

- 人権についての考え方は国によって異なると思う。外国人と日本人、相互の人権について考えていくべきである。
- 横須賀は基地があるので、外国人との交流（英会話、日本の文化を学べるもの）などの機会を増やすべきである。
- ヘイトスピーチ等は厳しく取り締まって欲しい。

4. 労働環境・ハラスメントに関する意見（5 件）

- セクハラ・パワハラなども最近ではオープンになっているため、ひと昔前の「当たり前」が実際は差別やいじめであったという認識を市民が持つことが必要である。大人になると誰かから学ぶ機会はなかなかないため、大人が知る機会やきっかけがあれば良いと考える。
- 障がい者施設で働く人が暴力を振るったというニュースや SNS での投稿は後を絶たないが、その裏には働く人々の人権も侵害されているということを理解すべきである。暴力は絶対にすべきではない。しかし、障がい者から施設職員への暴力は存在する。それなのに、どうしようもないからと自身が耐え続けて奉仕していくのは現実的に厳しいと思う。一人ひとりの人権を考えるのであれば、せめて待遇を良くするなど、見直すべき点があるのではないかと考える。
- 職種の内容に対して給与が見合っていないと感じることがある。仕事内容で差別するわけではないが、自身の命をかけて必死に働く人々には、しっかり見合う給与や手当を支給してほしいと思う。

5. SNS/インターネット問題に関する意見（6 件）

- インターネット上、特に SNS での誹謗中傷や誤った情報の流布への対策をしっかり行ってほしい。
- スマホやインターネットが使いこなせない、あるいは持ってない人がとり残されないようにしてほしい。
- 現在の世の中は簡単に人を批判でき、共感者を集めて袋叩きにできてしまうが、匿名性も強い現状では対策もかなり難しいと考える。一人や市という範囲ではなく、国としてさらに力を入れていくべき大きな課題である。理解がまず大事な一歩として、活動を続け、広げていくことで大きく変わっていただけることを一個人として願う。

6. 貧困問題に関する意見（5件）

- 生活保護者の人権は守られていないと感じている。
- 貧困が人権に大きく関わるので、貧困問題も一緒に考えてほしい。

7. 差別全般・いじめに関する意見（12件）

- 人権に関する問題の対策は慎重に検討する必要がある。区別と差別を取り違えてはならない。正しい知識を身につけることは大事である。
- 部落差別は、大学の授業を受講するまで知らなかった。義務教育において習うべきことだと今更ながら考える。
- いじめ、差別してなくても、心の中では容姿いじりをしている。インターネットでも「イケメン」、「美人妻」などの形容詞がよく出てくるが、世の中のルッキズムにより、そうでない人はコンプレックスを抱いている。これは容姿差別の助長だと思う。

8. 社会の変化・多様性に関する意見（20件）

- 世の中は進歩しているのに、むしろ人権問題が酷くなったように感じる。他人のことを気にしない世の中になったのではないかと、あるいは他人を気にすることが逆に悪いように取られることもある。心に余裕を持たない世の中で、人に対して関心を持つことが変な意味に捉えられてしまうのは悲しい。
- 人権は非常に大切に守られるべきである。しかし、守られすぎて悪用する人が多くなっている印象がある。
- 人権意識に凝り固まりギスギスしていくのも違うと思う。現在は変化の時で仕方ないのかもしれないが、バランスよく人を思いやることができれば良い。

9. 個人の意識や行動に関する意見（20件）

- 人権侵害しているつもりでなくても無意識にしている可能性もあるので、発言や行動は気を付けるべきだと思う。
- 人権問題よりコミュニケーション力やあいさつが大事だと思う。そのような行動をしない人がよく人権問題について話すことが多いように感じるので、横須賀市が率先して行ってほしい。選挙の時だけ手を振り挨拶するのはどうかと思う。
- 我が国の憲法において、「基本的人権の尊重」が明記されていることは紛れもない事実である。しかし、現在の私たちの身の回りでは、人権に関する問題が多数起きているという紛れもない事実が存在する。人権は国や地方自治体だけでなく、一人一人が協力してやっと守られるものであると思う。個人間で、様々な人に対する理解を相互に深めたり、お互いが嫌がることをしない、お互いの権利を主張しあって権利の衝突を起こさないようにするなど、基本的なことをしっかりとできるようになることが望ましい。

10. 人権の定義・捉え方に関する意見（15件）

- 人権とは勝手気ままな振る舞いや自分ファーストの価値観ではないことをきちんと理解してもらうべきである。他者の人権を踏みにじる者ほど、自己の人権を主張する傾向があるように感じる。
- 人権も大事だが、義務と権利を明確にすべき。何でもかんでも人権にすべきでは無い。
- 人権とは何なのか、今の世界を見てもわからない

11. 行政への要望・期待に関する意見（21件）

- 特に低収入で年金生活を送り、独居で暮らしている方々が安心して過ごせる地域の居場所作りを進めてほしい。自由に外出できない方に対して声かけや見守りを行う気軽なボランティアがいるとよい。あわせて、日本に来てくれる外国人の方々を横須賀が積極的に受け入れ、今後の少子化や労働力不足の軽減につなげてほしい。国籍関係なく仲良く活気あふれる開かれた横須賀を期待する。
- 市で行っている人権に関する取組みでよく知られているのはピンクシャツデー運動くらいであり、それはちらしをよく見かけるからだと思う。他の様々な人権問題についても広報や研修、講座の回数を増やして周知に努めるべきである。
- これからの日本では、高齢者や障害者に対する行政の施策がとても大事であると考えている。子育て支援ばかりに目を向けず、少しの支えで自立できる人々への支援の拡充をしていただきたい。

12. その他（33件）

- 横須賀に来て数年ですが、多様性を受け入れる雰囲気がある町だと感じている。
- 人権を主張するのも個人の自由。守られなければならないとても難しい問題だと思う。
- アンケートによって考えさせられた。大変勉強になった。ありがとうございます。